

考え学ぶ英文法

「あらためて英文法を勉強しよう！」

テレビによく出ているある若者が「英文法が嫌いだったが、会話本で例文 500 覚えたら、あらためて英文法を勉強しようと思った。そして勉強してみると今度は、英文法がなるほど、そういうことだったのかと納得できるようになった」と書いていました。

思い起こせば私も、今よりはるか遠い昔、熊本の山奥で中学高校生だった頃、「ペラペラブック」こそありませんでしたが、重要構文をひたすら音読して、文字を見ずにそれを言うことができました。当時も（今も）、よりたくさんの英語の語彙と表現を覚えれば大学に合格できるという現実がありました。

さて、そのようにして英文を機械的に言うことができたとしてもはたして、本当に世界の人々と語ることができるのでしょうか？

私は機会あって、大学に入る前に米国に一年暮らすことになりました。渡米数日後、近所の五歳ぐらいの男の子が私に言った次の言葉の中の **some** は今でも忘れられません。

“Teach me some judo.”

私は「この **SOME** は何だ????」と思いながら、技を教えました。

それから、数十年たち、私もすっかり英文法を勉強し直し、今ではこの子の言いたかったことがわかります。この子は「**judo**= 柔道というものを（すべて）、教えてくれ」と言っていたのではありません。「**柔道の技の一部 = some**」を教えてくれ、と言っていたのです。

この「**some** とは何か？」は、この本が取り上げている項目のほん

の一例です。みなさんが以前使った「文法書」と異なり、この本はただ例文を並べるのではなく、必ず各項目で「なぜそうなるのか」「どう違うのか」「なぜ、ひかえめでいいいな表現なのか」「どういうイントネーションで話すのか」と、問題提起をしながら、英語を使うための規則、すなわち英文法を「考え学ぶ」ように組み立てられています。

<< この本を読めばわかること >>

- ① 英語の動詞と日本語の動詞の違いは何か。
- ② to do/ ~ ing/ ~ ed の表す時はいつか？
- ③ 時制とそれが表す時は同じではない。聞き手との関係において形が異なる。過去形や進行形はていねいさ、ひかえめを表す。
- ④ some は「あるとみなす」、any は「どれと決まらない」。
- ⑤ 文中には現れない話し手の（発話時の瞬間の）心の態度に着目すること。法助動詞、仮定法、副詞、分詞構文などが英語の文の中でどのような役割を担っているのか。
- ⑥ SVOC の解釈ばかりするのではなく、文の構造を「主題—焦点」という話し手の主観に立ってとらえる。
- ⑦ 旧情報は文頭に、新情報は文末に置く、という傾向を知っていれば、前の文で何が語られたかによってこれから何を文頭に置かかがわかる。
- ⑧ 話し手の意志や感情は、イントネーションや発音の強弱によっても変わる。
- ⑨ 英語には地域差があり、ある国の英語だけが絶対ではない。
- ⑩ 英語の名詞は、それが表すものに区切りがあるかどうかで冠詞も決まってくる。
- ⑪ 前置詞の「基本的な意味（位置）」から「抽象的意味」を考えると理解しやすい。

ページ数に限りがあるので詳しい説明を割愛せざるをえなかった項目（「文の働き」や「話法」）もありますが、この本を読めば、英文法についてほぼ全体を、学生時代の英文法学習とは違った新しい視点で学ぶことができます。「受け身」については、第6章「主題と焦点」の中に取り上げてあります。それでは皆さん、

Happy learning!

2003 年立春

目次

考え学ぶ英文法 iii

第1章 動詞の種類 (ある, なる, する) と文型 (動詞と形容詞) …… 1

- ① Be 動詞のさまざまな意味 2 ③ 「する」行為動詞 (自動詞と他動詞)
 ② 状態動詞「～している, ある」 5
 (be, have, know, love, contain, resemble …) 4 ④ 形容詞の文型 10

第2章 準動詞 to do / doing / done …… 11

- ① 準動詞の表す時 11 動詞の原形 do/to do/to have
 ② 準動詞の意味合い: done/～ing 16

第3章 時制 …… 23

- ① 英語の時制 23 ⑥ 過去形の意味 38
 ② 現在形 23 ⑦ 現在完了 40
 ③ 進行形 26 ⑧ 現在完了進行形 43
 ④ 未来 31 ⑨ 過去完了 44
 ⑤ 未来完了 (進行形) 37 ⑩ 過去完了進行形 45

第4章 話し手の主観 (1): 否定と助動詞 …… 47

- ① 否定 47 ⑥ 可能性についての推測を表す助動
 ② 「あるとみなす」some と「どれと 詞: have (got) to/must/will/
 決まらない」any 49 should/can/may/cannot, etc.
 ③ 否定的な意味を持つ語: ⑦ 過去についての今の推測:
 little/few/hard, etc. 51 {must/may...} + have ~ ed (過
 ④ 話し手の主観を表す動詞 53 去分詞) 69
 ⑤ 可能性の度合いを表す表現 ⑧ イギリス英語の should とアメリ
 (It is 形容詞 that ... / 可能性の副 力英語の仮定法現在 73
 詞) 56

第5章 話し手の主観 (2): 仮定法過去/仮定法過去完了 …… 75

- ① 仮定法とは 75 ④ 「助言」If I were you, ～. 82
 ② 「かなわぬ願い」と「かなえられな ⑤ 「今ありえないこと/これからあり
 かった願い」: I wish I ~ 76 そうにないこと」(仮定法過去)と
 ③ 「ありそうなこと (条件文)」と「あ 「なかったこと」(仮定法過去完了)
 りえないこと (仮定法過去)」 80 82

第6章 主題と焦点, 情報構造 …… 87

- ① 新情報と旧情報とは 87 ③ 否定語+疑問文の語順 113
 ② 倒置 112 ④ 主題と焦点の一致 115

第7章 比較 …… 117

- ① 同等比較 117 ③ 最上級 131
 ② 比較級 121

第8章 冠詞, 名詞, 修飾語 …… 137

- ① 冠詞 137 ⑦ 文頭の副詞 159
 ② a と the の注意点 140 ⑧ 目的語の前や後ろに来る副詞
 ③ 名詞 145 160
 ④ 形容詞 151 ⑨ その他の副詞に関する注意事項
 ⑤ 副詞 156 160
 ⑥ 副詞の意味と位置 157 ⑩ 分詞 (からできた形容詞) 162

第9章 分詞構文 …… 165

第10章 代名詞 …… 171

- ① 人称代名詞の指す方向 171 ④ 「～自身の」はどう言うか 175
 ② 指示代名詞 this, that と it の指す ⑤ 不定代名詞 one 176
 方向 172 ⑥ 状況を表す it 180
 ③ 再帰代名詞 ~ self 174

第11章 接続詞 …… 181

- ① 接続詞の種類 181 ④ if, whether は文頭に置けるか?
 ② 名詞節か副詞節か 182 185
 ③ or not の位置 184 ⑤ 時 185

- ⑥ 原因・理由 186
- ⑦ 目的か結果か 187
- ⑧ 目的 187
- ⑨ 程度か結果か 188
- ⑩ 条件 189
- ⑪ 除外条件 190
- ⑫ 限定条件か範囲か 190
- ⑬ 譲歩 191
- ⑭ 名詞節を導く接続詞 — that の
さまざまな使い方 192

第12章 関係詞 195

- ① 関係代名詞 195
- ② 関係代名詞の省略 196
- ③ what 196
- ④ 関係代名詞か関係副詞か 198
- ⑤ 「譲歩」を表す複合関係詞 203
- ⑥ 特殊な関係代名詞 204

第13章 前置詞 205

- ① at か in か (1) 205
- ② at か in か to か (方角と方向)
207
- ③ at か in か (2) 208
- ④ in か with か (具体的な意味「位置」
から抽象的な意味へ) 208
- ⑤ in か within か (時間) 209
- ⑥ 「～から」は out か out of か
from か 211
- ⑦ 「～から」は from か 212
- ⑧ on (接触) 214
- ⑨ off (分離) 215
- ⑩ by と near と next to と beside
216
- ⑪ to (到達点) 217
- ⑫ for か on か (目的と従事) 218
- ⑬ 「～の」は of か 219
- ⑭ 「～の」は of か in か 219
- ⑮ 「～の」は of か at か (1) 220
- ⑯ 「～の」は of か at か (2) 220

INDEX 223